

教科	公民	科目	現代社会	担当	
履修学年	2年	単位数	2	履修区分	理系クラス（必履修）
教科書	現代社会（東京書籍）				
副教材等	現代社会 要点サブノート（東京書籍）				

1 学習目標

人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としてのあり方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

2 学習評価

評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
a	関心・意欲・態度	現代の社会と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとする。
b	思考・判断・表現	現代の社会と人間にかかわる事柄から課題を見だし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。
c	資料活用の技能	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を主体的に選択し活用して学び方を身に付ける。
d	知識・理解	現代社会の基本的問題と人間としてのあり方生き方にかかわる基本的な事柄や、学び方を理解し、その知識を身に付けている。

3 全体計画

期	月	内容の まとめ	単元 (題材)	項目 (学習内容)	評価の観点				単元の評価規準	評価方法		
					a	b	c	d				
前 期	4	第2部 現代の社会と人間	第1章 青年期と自己形成の課題	1 現代社会と青年の生き方	○		○	○	a 現代の青年期の特色やアイデンティティの確立の意義について、自分自身の課題として捉え、追求しようとしている。 b 先哲の思想を手がかりに人間のとらえ方やよりよい生き方について考察できる。 c 教科書記載の統計や資料、図などを適切に読み取り、活用することができる。 d 欲求と行動、パーソナリティの形成に関わる要素などについて理解している。	定期考査 授業参加態度 提出物など		
				2 よりよく生きることを求めて (～③近代科学の考え方まで)		○	○					
	6	第1章 青年期と自己形成の課題 第2章 日本国憲法と民主政治	2 よりよく生きることを求めて	○	○	○		a 近代以降の科学のものの考え方や人間の尊厳の思想が、今日のものの考え方の基礎となっていることに関心を持ち、追求しようとしている。 b 理解したこと、考察したこと、関心を持ったことなどを、適切な方法で表現できる。 c 先人の言葉の意味を読み取り、それぞれのものの考え方を理解するために資料を適切に活用できる。 d 民主政治の成立の歴史や原理、基本的人権の歴史的展開について理解し、民主政治に関する基礎的な知識を身に付けている。				
			1 民主政治とは	○	○		○					
	前期中間考査											
	6				2 日本国憲法の基本原理	○	○	○	○		a 基本的人権の保障について、その実質的な意味、社会の変化に伴う新しい人権の要請などについて関心を高め、考えようとしている。 b 基本的人権の保障について、その基本的な意義とともに、それら人権の性格によって区別できること、公共の福祉との関わりや新しい人権の背景と意義について、多面的に考察できる。 c 平和主義と安全保障について、自衛隊や日米安全保障条約に関する資料を適切に活用している。 d 日本国憲法と大日本帝国憲法との比較から、日本国憲法の特徴を理解し、日本国憲法の三大原理についての知識を習得できる。	
					3 日本の政治機構	○	○	○	○			
	9				4 現代政治の特質と課題	○	○		○		a 近年実施された選挙の例なども参考にしながら、選挙制度や一票の価値などの課題について関心を持つことができる。 b 理解したこと、考察したこと、関心を持ったことなどを、適切な方法で表現できる。 c 三権分立や国会の組織、法律の成立過程、憲法改正、内閣の権限、行政機構、日本の裁判制度等の教科書記載図を適切に活用できる。 d 世論の意義と世論形成におけるメディア・リテラシーの重要性、大衆社会における政治の課題について理解できる。	
					第3章 現代社会と法 第4章 現代の経済と国民福祉	1 現代社会と法	○	○				○
	前期末考査											

後 期	5	9		2変化する日本経済	○	○	○	○	<p>a 中小企業や農業の日本経済における意義や役割、課題について関心を持ち、意欲的に追求しようとしている。</p> <p>b 中小企業の役割や意義と課題、農業の役割と変化、関連する政策の変遷などについて考察できる。</p> <p>c 日本経済の現状や変遷の理解のために、教科書記載図を適切に活用することができる。</p> <p>d 日本経済の構造的特質とされてきた中小企業の役割と近年の展開、農業の役割と農業に関する政策の展開について理解し、その知識を身につけることができる。</p>	定期 考査 授業参加態度 提出物など	
				3豊かな生活の実現	○	○	○	○	<p>a 消費者問題や社会保障制度の意義、その内容や課題について関心を持ち、意欲的に追求することができる。</p> <p>b 理解したこと、考察したこと、関心を持ったことなどを、適切な方法で表現できる。</p> <p>c 基準に基づく労働契約の重要性を理解するために、労働基準法の主な部分を資料として活用することができる。</p> <p>d 労働基本権や労働三法、社会保障制度に関する諸問題について理解し、その知識を身につけることができる。</p>		
		11	第5章 国際社会と人類の課題	1 国際政治のしくみと動向	○	○	○	○	<p>a 東西対立や軍拡競争と、その後の軍縮の取り組み、紛争を避けるしくみについて関心を持つことができる。</p> <p>b 理解したこと、考察したこと、関心を持ったことなどを、適切な方法で表現できる。</p> <p>c 冷戦と軍拡・軍縮の流れについて理解するために、関連する諸資料を適切に活用することができる。</p> <p>d 主権国家の成立と国際関係における外交の役割、国際法の種類と意義について理解し、その知識を身につけることができる。</p>		
	後期中間考査										
		5	11		3 国際社会の現状と課題	○	○	○	○	<p>a グローバル化している経済の動きについて関心を持つとともに、これからの国際社会における日本が果たすべき役割について関心を持つことができる。</p> <p>b 理解したこと、考察したこと、関心を持ったことなどを、適切な方法で表現できる。</p> <p>c 世界の中で日本の果たすべき役割について考察するために、教科書記載図や諸資料を適切に活用することができる。</p> <p>d 外国為替市場における為替相場の動きのメカニズムや、国際社会が抱える諸課題について理解するとともに、その知識を身につけることができる。</p>	定期 考査 授業参加態度 提出物など
				3 国際社会の現状と課題	○	○	○	○	<p>a グローバル化している経済の動きについて関心を持つとともに、これからの国際社会における日本が果たすべき役割について関心を持つことができる。</p> <p>b 理解したこと、考察したこと、関心を持ったことなどを、適切な方法で表現できる。</p> <p>c 世界の中で日本の果たすべき役割について考察するために、教科書記載図や諸資料を適切に活用することができる。</p> <p>d 外国為替市場における為替相場の動きのメカニズムや、国際社会が抱える諸課題について理解するとともに、その知識を身につけることができる。</p>		
3	第1部 わたしたちの生きる社会 第3部 ともに生きる社会をめざして		テーマ学習								
後期末考査											

4 評点の観点別配点(考査以外も含む合計)

	前期中間	前期末	後期中間	後期末
a	25	25	25	25
b	25	25	25	25
c	25	25	25	25
d	25	25	25	25
計	100	100	100	100

5 授業や課題等に取り組む上での留意点

- ①授業第一に、ノートを作成を確実にこなすこと。
- ②演習ノートを用い、基礎知識の定着に努めること。
- ③授業を欠席しないこと。

※変更がある場合は、教科担任が事前に連絡します。